



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進医療の推進  
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎  
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## すべては患者さんのために

### 顎顔面口腔外科 科長 代田 達夫

私が担当している患者さんには、半年あるいは年に一回程度の定期検診で、5年、10年、中には20年以上も通院して下さっている方も珍しくありません。そのような患者さんの中に、開院当初から通い続けて下さっている方がおられます。口腔外科の担当医は、東京医科歯科大学の名誉教授で本学に歯学部が開設された時に第一口腔外科の教授として赴任された故上野 正先生、本学名誉教授である道 健一先生へと引き継がれ、今は私が担当させていただいています。私が新人の頃は患者さんもまだ20歳前後の大変美しいお嬢さんで、教授の指示を理解できず、まごついていた私が先輩から叱られているのを面白そうに眺めておられました。今は「お久しぶり」と言うお声掛けから診察を始めるのですが、患者さんから「先生も立派になられて」などとからかわれますと、診療中であることも忘れてつい雑談に興じてしまうことがあります。

実はこの患者さんは重度の口唇口蓋裂ということもあって、口腔外科だけでなく、矯正歯科、歯内治療科、歯周病科、そして補綴歯科でも、当時の教授たちから直接治療を受けていました。上顎の歯のほとんどは根が吸収されて短くなり、齲蝕や歯列不正の治療のために歯髄は抜かれ、セラミックの冠が被せられた状態で、既に30年近くが経過しています。今の感覚では、ほとんどの歯がだめになり抜歯されてインプラントや義歯の治療が行われていても不思議ではない状態でした。しかし、この患者さんの歯は今でも問題なく機能しています。「偉い先生たちが時間をかけて、丁寧に見て下さいましたから」と患者さんは仰っていま

すが、私はこの患者さんを拝見するたびに、難症例の治療に自ら携わった先生たちの強い執念を感じます。治療は当時としても標準的で、特別なことはされていませんが、磨き抜かれた熟練の技術で丁寧に治療されたからこそ、これらの歯は永年にわたって患者さんのお口の中で機能し続けてきたのであろうと思います。

現在、インターネットやマスメディアには「先端医療」という言葉が溢れ、「先端医療こそが最良の治療」と考える風潮も一部にあります。しかし、「最先端の医療」とは「完全無欠な医療」を意味するものではありません。もちろん、私も最先端の手術や難症例と言われる手術に挑戦することがあります。第一の理由は従来の方法では良い結果が得られないことがあるからです。第二の理由は新しい手術法、より良い治療法を開拓しなくては進歩がないと考えるからです。

先端医療には不確実性が伴うこともありえます。この不確実性を克服し、患者さんに少しでも安全な先端医療を提供するためには、まずは「磨き抜かれた熟練の技術」が不可欠です。そして、スタッフ全員が患者さんのことを第一にかつ真摯に考え、絶対的な誠実さを持って医療に携わることが先端医療に繋がるという信念のもと、10年、20年の時を経た後も患者さんから良かったと思っただけのような口腔外科手術の実現を目指して努力してゆきたいと考えています。



## 顎顔面口腔外科 紹介

「口腔外科」というと何をやってる科か分からない、呼称に馴染みがないとおっしゃられる方がおられるかもしれません。ですが最近、かなり一般の方にも認知度が広がってきました。良く知られるようになったのが、親知らず(智歯)など顎の骨の中に埋まっている歯の抜歯を行なっている診療科であるということです。日常的に、ご近所のかかりつけ歯科医院で様々なお口のトラブルを診てもらっていると思いますが、こと親知らずの抜歯に関しては、「口腔外科にご紹介しますね」と言われた方も多くなってきているのではないかと思います。

大袈裟に言えば私たちはお口の中の外科医です。顎の骨の中に埋まっている親知らずを抜くのに、麻酔の注射をして、外科医のようにメスをふるって、埋まっている歯を分割して(場合によっては骨を削って)抜いていきます。切ったはぐきはきれいに縫ってしまいます。お口の中は神経が敏感な場所ですので、これら一連の操作は慎重に、そしてその操作に習熟するために私たちは長い間訓練を行なっています。

また、親知らずの抜歯以外にも一般の歯医者さんでは、なかなか扱わないお口の中の様々な病気に対して診断・治療を行っております。口の中のけが、虫歯や歯周病が進行してしまった顎の炎症、嚢胞と呼ばれる膿の袋や、口の中の粘膜の病気やできもの、顎の変形や口蓋裂などの先天異常、インプラント(人工歯根)による咬み合わせの回復なども扱っています。このため、それぞれの疾患に適切に対応できるように日々努力しています。

このように私たちは絶え間ない研鑽で診断や治療技術の向上をはかっていますが、最近の医療工学の発展に伴い、最新の医療器機の導入も積極的に行なっています。入院手術を要する患者様で、顎顔面の入り組んだ場所を手術する際に有用とされる手術用ナビゲーションシステムが導入さ

れました。手術用ナビゲーションシステムとは、術前に撮影した画像を基に、手術中に三次元的な解剖学的位置関係を同じ画像上に描き出して術前計画通りの手術を行なうシステムです。このシステムを導入することで、術中どこを切っているか一目瞭然ですので、これまで以上に正確で安全な手術を行なう事が出来るようになってきました。

このように私たちは最新の医療技術を取り入れながら、患者様に安心・安全な医療を提供してゆきます。単に疾患を治療するのではなく、当科で治療してよかったという安心感や満足感を目指して、患者様の社会復帰に貢献したいと思っています。お口の中で何かお困りの事があれば、いつでもご相談ください。

顎顔面口腔外科 医局長 栗原 祐史



診療風景



顎顔面口腔外科スタッフ

## 周術期の口腔ケアに関して

昭和大学口腔ケアセンター 昭和大学口腔ケアセンター長 弘中祥司

昭和大学には8つの附属病院があります。各附属病院にはそれぞれ地域の特性や本学の建学精神に合わせた機能性を持った病院に分かれています。そしてこの歯科病院も口腔と全身に特化した病院に分類されます。

病院に入院すると、それぞれ患者さんの病気に合わせた診療科が対応することが多かったのがこれまでの医療でした。例えば、心臓の調子が悪ければ、循環器内科あるいは外科の先生が対応するのですが、他にも膝が悪かったりすると整形外科への受診が後回しにされることが多かったです。昭和大学では、チーム医療を推進し、患者さんの全身から問題点を抽出するため、先ほどの例で示しますと、循環器の医師、整形外科の医師、看護師や他の職種とどのように効率よく治療を行うかを検討してから初めて治療が開始されます。そうすることで、患者さんにとって、無駄の少ない治療が行われるようになります。



ICUでの口腔ケア

そのような理想の医療を遂行する中で、クローズアップされてきたのが、口や歯の問題で、入院中に治療薬の影響で口がとても渇く、痛い等の訴えが多く、また長期の入院で入れ歯が合わない、食べられないといった問題点も多く指摘されるようになりました。そこで、本学では昭和大学口腔ケアセンターを発足させ、全ての附属病院の入院患者さんに対応するようにしております。

具体的には、昭和大学関連8病院の入院患者さんの口腔ケア(歯や口腔の清掃、食べられる口を作る機能なケア)の徹底を図ることで誤嚥性肺炎や窒息事故等の発生を防止し、その後の医療を円滑に行うこと



に貢献するとともに、摂食嚥下障害や口臭などに対する専門的な医療対応を病棟の医師、看護師、栄養士等のスタッフの協力を得て行っています。また退院後も生活する場(ご自宅、他施設など)における地域連携パスに繋ぎ、口腔の医療面からの地域医療に貢献しております。



病棟での口腔ケア回診

実際に口腔ケアセンターを運営しているのは、歯学部口腔衛生学部門と歯科病院の連携歯科、口腔リハビリテーション科、顎顔面口腔外科、歯科麻酔科、高齢者歯科、歯科衛生室等の多くの歯科専門外来の方と連携して行っております。

入院中でも、爽やかな口腔で早期の退院・回復をスタッフ一同、サポートしております。



# 昭和大学公開講座 「暮らしと健康」

昭和大学歯科病院では、皆様にお口の健康を保つのに役立てていただくため、公開講座を開催することに致しました。皆様のご参加をお待ちしております。

2015年 **7月11日** **土** 13:00-15:00

場所：昭和大学歯科病院 1号棟6階【臨床講堂】

## 第1部

13:00~14:00

### 「お口の中のがん治療ってどんななの？」

講師：嶋根 俊和（昭和大学歯学部教授、昭和大学頭頸部腫瘍センター長）

## 第2部

14:00~15:00

### 「お口の清掃と全身のかかわり」

講師：木本 未（昭和大学歯科病院歯科衛生室・歯科衛生士）

受講後、事前申込者には受講証を発行致します。

**参加費  
無料**

（先着100名様）

歯科用品  
プレゼント  
あります!

主催：昭和大学・昭和大学歯科病院

後援：大田区

■受講申込 ※申込受付は6月からになります。

<直接お申込みいただく場合>

昭和大学歯科病院1Fロビー

（申込用紙に記載の上、備え付けのポストにお入れ下さい）

<メールでお申込みいただく場合>

件名を「公開講座受講希望」とし、氏名、住所、電話番号を入力の上、下記までお送りください。

dh-festa@ofc.showa-u.ac.jp



## 節電のお願い

**Cool Biz**

冷房の設定温度は  
**28℃**

昭和大学は、全施設一丸となって節電対策に取り組んでおります。  
皆様のご理解とご協力をお願い致します。

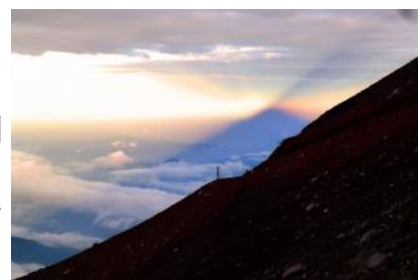
実施期間：平成27年5月1日（金）～9月30日（水）  
（気象条件により、期間は変更する場合があります。）

学校法人 昭和大学

## 編集後記

いよいよクールビズが始まりました。28度は熱い設定ですが、地球温暖化の制御やエネルギー消費の抑制などのため、ご協力頂けましたら幸いです。ただし、室温のため体調が悪くなられた場合はスタッフまでどうぞご遠慮なくお申し付けください。

(K.T)



影富士 撮影：佐藤 裕二